ソフトウェア取扱説明書

Victor フォト・ナビゲーター

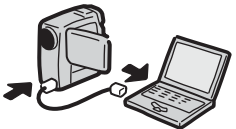
お買い上げありがとうございます

ご使用のまえに

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ビデオカメラの取り扱いについては、ビデオカメラの取扱説明書をお読みください。パソコンの取り扱いについては、パソコン付属の取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、
必要なときにお読みください。

LYT1317-002B

パソコンに接続するまえに

ご注意

デジタルビデオカメラ（以下、ビデオカメラ）をパソコンに接続するまえに、本書をよく読み、付属の CD-ROM から適切なソフトウェアをインストールしてください。
インストールせずにビデオカメラを接続したり、間違ったソフトウェアをインストールしてから接続すると、動画や静止画をパソコンに読み込めなくなることがあります（☞P.74）。

パソコンで使うときの流れ

	ドライバなどをインストールする 付属の CD-ROM からドライバやアプリケーションをインストールします。

▼

	ビデオカメラを接続する 付属の USB (Universal Serial Bus) ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続します。

▼

	パソコンを操作する 次の取扱説明書を参考に、パソコンを操作します。 • 本書 • ImageMixer のオンラインヘルプ • フォト・ナビゲーター取扱説明書（オンラインマニュアル） • パソコン付属の取扱説明書とヘルプ

※ビデオカメラのイラストは、実物と異なります。

こんなことができます

あなたの作品をお友達へ送りましょう

せっかく撮影した動画や静止画が、カセットテープやメモリーカードのなかで眠っていませんか？
素敵な場面を撮影できても、テレビにつないで鑑賞するだけでは観客は家族とお客様だけです。遠くに住んでいる親戚やお友達には観てもらえません。大切な作品が入ったカセットテープやメモリーカードですから、譲ってしまうわけにはいきません。
そんな悩みはパソコンで解決できます。USB ケーブルまたは DV ケーブルで接続すると、ビデオカメラからパソコンへ、動画や静止画をコピーできます。あとはメールなどであなたの作品を届けることができます。

私のパソコンへ取り込めますか？

■メモリーカードから

USB 端子のあるパソコンならまず大丈夫です。

- Windows の場合→「1 章　メモリーカード（Windows）」(☞P.9)
- Macintosh の場合→「2 章　メモリーカード（Macintosh）」(☞P.23)

■カセットテープから

お使いのパソコンの OS が Windows Me/2000/XP の場合、パソコンに IEEE1394 端子があれば大丈夫です。さらに OS が Windows XP の場合、USB 2.0 端子がパソコンに標準装備されていれば、それを使うこともできます。

- テープからの取り込みについて→「ImageMixer（Windows）」(☞P.31)

メールで送れますか？

ビデオカメラから取り込んだ動画ファイルは大容量です。メールにそのまま添付すると、容量が大きすぎて送受信に時間がかかったり、相手に届かないことがあります。付属のソフトウェアで必要な部分だけを切り取ったり、ファイルサイズを小さくしたりしましょう。
静止画ファイルの場合も、ファイルサイズを小さくすることをお勧めします。

- ImageMixer について→「3 章　ImageMixer（Windows）」(☞P.31)
- フォト･ナビゲーターについて→「4 章　フォト･ナビゲーター（Windows）」(☞P.59)

長時間・高画質のまま送りたいのですが？

長時間の動画ファイルを送りたいときや、ファイルサイズを小さくせず送りたいときなどは、付属の ImageMixer で DVD Video や Video CD に記録しましょう。

- ImageMixer について→「3 章　ImageMixer（Windows）」(☞P.31)

アルバムに貼って閲覧しましょう

よく似たファイル名ばかりで、どのファイルがどんな内容だったのか判らなくなってはいませんか？
付属のソフトウェアを使うと、写真を貼ったアルバムのようにパソコンで動画や静止画を一覧表示できます。アルバムをめくるように鑑賞できるので、メールで送りたいファイルを簡単に探せます。
- ImageMixerについて→「3章　ImageMixer（Windows）」(☞P.31)
- フォト･ナビゲーターについて→「4章　フォト･ナビゲーター(Windows)」(☞P.59)

編集して完成度をアップさせましょう

撮影したときは会心の名場面だったのに、再生したら間延びした退屈な作品になっていた。そんな経験はありませんか？
作品の善し悪しは、編集で決まります。ビデオカメラとビデオデッキがあれば動画を編集できますが、付属のImageMixerを使うと、パソコンに読み込んでより高度な編集を楽しめます。
完成した作品は、パソコンで再生するほか、メールで送ったり、ホームページで上映できます。
- ImageMixerについて→「3章　ImageMixer（Windows）」(☞P.31)

上手く編集するコツは？

見栄えのする作品に仕上げるコツは、短いカットをテンポよく繋ぐこと。撮影した動画から印象的な部分を選び出して、短く切りつめて並べてみましょう。
撮影したときの順序にこだわることはありません。自由な発想を楽しんで、簡単な物語になるように並べると、作品の完成度はグンとアップするはずです。
慣れるまでは、30秒以下のカットを並べて3分以下の作品を作ってみることをお勧めします。

DVD Videoを作れますか？

パソコンに記録型DVDドライブがあれば、編集した作品をDVD Videoに記録できます。DVD1枚に最大約60分、高画質の動画を記録できます。
- DVD Videoについて→「3章　ImageMixer（Windows）」(☞P.31)

Video CD を作れますか？

パソコンに CD-R ドライブがあれば、編集した作品を Video CD に記録できます。650MB の CD1 枚に最大約 64 分の動画を記録でき、ほとんどの DVD プレーヤーで再生できます。

- Video CD について→「3 章　ImageMixer（Windows）」（☞P.31）

ビデオカメラを活用しましょう

パソコンと組み合わせて、ビデオカメラの機能を使いこなしましょう。

インターバルショット

ビデオカメラのインターバルショット機能と、付属のフォト・ナビゲーターのムービー機能を組み合わせると、テレビでおなじみの超微速度撮影を実現できます。

- インターバルショットについて→ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください
- フォト・ナビゲーターについて→「4 章　フォト・ナビゲーター（Windows）」（☞P.59）

■つぼみの開花を撮影する場合

花のつぼみのまえにビデオカメラを設置し、インターバルショット機能を使って静止画を自動撮影します。静止画ファイルをパソコンに取り込み、フォト・ナビゲーターのムービー機能を使うと、数時間かかる開花の様子を数秒に凝縮した動画ファイルができます。

インターバルタイムを 15 秒に設定して撮影し、フォト・ナビゲーターで 30 フレーム / 秒の動画ファイルにすると、実際の 1 時間が動画ファイルでは 8 秒間に凝縮されます。

■Macintosh をお使いの場合は

フォト・ナビゲーターの代わりに、QuickTime Pro（アップルコンピュータ社）をお使いください。QuickTime Player のファイルメニューで「イメージシーケンスを開く」を選び、撮影した一番最初の静止画ファイルを開きます。

テレビ電話（ビデオチャット）

DV ケーブルでパソコンに接続し、パソコンで Windows Messenger を使うと、テレビ電話（ビデオチャット）を実現できます。しかも、常時接続のインターネット回線を使っていれば、電話料金がかかりません。

なお、通話相手にもインターネットに接続したパソコンが必要です。

- テレビ電話について→「5 章　ビデオチャット（Windows XP）」（☞P.67）

本書の読みかた

ソフトウェア取扱説明書は、次のように分かれています。

■1章　メモリーカード（Windows）
USBケーブルを使って、メモリーカードの静止画ファイルや動画ファイルをパソコンのハードディスクにコピーできます。

■2章　メモリーカード（Macintosh）
USBケーブルを使って、メモリーカードの静止画ファイルや動画ファイルをパソコンのハードディスクにコピーできます。
Macintoshをお使いの場合にお読みください。

■3章　ImageMixer（Windows）
静止画や動画を取り込んでアルバムを作ります。静止画の色や明るさを調節したり、動画を編集してDVD VideoやVideo CDを作ることができます。

■4章　フォト・ナビゲーター（Windows）
インターバルショット機能を使って撮影した静止画ファイルから、動画ファイルを作ることができます。また、静止画を取り込んでアルバムを作ることができます。

■5章　ビデオチャット（Windows XP）
インターネットへの常時接続回線をお使いの場合、ビデオカメラを使ってテレビ電話（ビデオチャット）を実現できます。
Windows XPをお使いの場合にお読みください。

■6章　その他
付属のソフトウェアが正常に動作しない場合の対処方法などについて記載しています。

記号の意味

本文には、次の記号が使われています。

記号	意味	記号	意味
	操作上の注意などが記載されています。		関連するページを示しています。
	使用中に起こりうるトラブルや、トラブルのように見える現象が記載されています。		次のページに説明が続きます。
	使用上の制限や、知っていると便利な内容が記載されています。		

本書の表記について

- お使いのパソコンのOSの種類によっては、画面表示や操作方法が本書と異なることがあります。
- 本書では、CD-ROM ドライブなどのドライブ名を (D:) としています。お使いのパソコンによっては、ドライブ名が異なることがあります。
- 本書に記載されているホームページアドレス (URL) は、本製品の発売時のものであり、変更されることがあります。

著作権について

あなたが付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽 CD を BGM とするムービーを編集する場合は、音楽 CD の複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- Microsoft、Windows、NetMeeting、HotMail、MSN、DirectX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- Macintosh、iBook、Mac OS、QuickTime は、米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。iMac は、米国 Apple Computer,Inc. の米国およびその他の国における商標です。
- Pentium は、米国 Intel Corporation の登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

1章

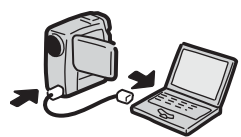
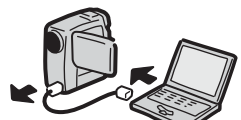
メモリーカード(Windows)

USB ケーブルを使って、メモリーカードの静止画ファイルや動画ファイルをパソコンのハードディスクにコピーできます。

動作環境（お使いになれるパソコン）

次の条件を満たすパソコンでは、メモリーカードの静止画ファイルや動画ファイルをパソコンへコピーできます。

OS ： 次の OS のプリインストール版を動作対象とします。OS をアップグレードした場合は、動作を保証しません。

- Windows 98 Second Edition （以下、98SE）
- Windows Millennium Edition （以下、Me）
- Windows 2000 Professional （以下、2000）
- Windows XP Home Edition （以下、XP）
- Windows XP Professional （以下、XP）

端子 ： 標準装備の USB 端子

- USB ケーブルの延長ケーブルは使わないでください。
- USB ハブを経由してパソコンに接続すると、ハブとパソコンの相性によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。ハブを使わないでパソコン本体の USB 端子に接続してください。
- 新たに購入したメモリーカード（付属品のメモリーカードを除く）をお使いになる場合は、撮影のまえにビデオカメラでメモリーカードを初期化（フォーマット）してください。ビデオカメラとパソコンを USB ケーブルで接続したときに、ファイルをコピーできないことがあります。
- パソコンの環境によっては、正常に動作しないことがあります。

パソコンに読み込むまでの流れ

ドライバをインストールする（☞**P.**12）
付属の CD-ROM からドライバをインストールします。
- USB マスストレージクラスドライバ(Windows 98SE のみ)

▼

ビデオカメラを接続する（☞**P.**15）
USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続します。
- USB　マスストレージクラスドライバをインストールするまえに接続すると、異なるドライバがインストールされることがあります（Windows 98SEのみ）(☞P.74)。

▼

ファイルをパソコンにコピーする（☞**P.**18）
ビデオカメラのメモリーカードから、静止画ファイルや動画ファイルをパソコンへコピーします。

▼

ビデオカメラを取りはずす（☞**P.**19）
ビデオカメラをパソコンから取りはずし、電源を切ります。

▼

ファイルをパソコンで扱う（☞**P.**22）
静止画ファイルをパソコンで見たり、動画ファイルを再生することができます。

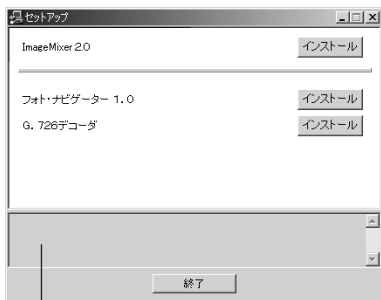
※ビデオカメラのイラストは、実物と異なります。

ドライバをインストールする

CD-ROM をセットする

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

しばらくすると「セットアップ」が表示されます。

- 画面はOS またはビデオカメラの機種（CD-ROM の種類）によって異なります。

ソフトウェアの説明が表示されます

※続いて、次の「USB マスストレージクラスドライバ」へ進んでください。

メモ

- 「セットアップ」が表示されないときは、マイコンピュータをダブルクリックして CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

Windows XP では、スタートメニューの「マイコンピュータ」をクリックし、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

USBマスストレージクラスドライバ

ビデオカメラのメモリーカードがパソコンで読み書きできるようになります。

Windows Me/2000/XP の場合

ドライバのインストールは必要ありません。USB ケーブルで接続するだけでビデオカメラのメモリーカードをパソコンで読み書きできます。

※「G.726 デコーダ」(☞P.14) へ進んでください。

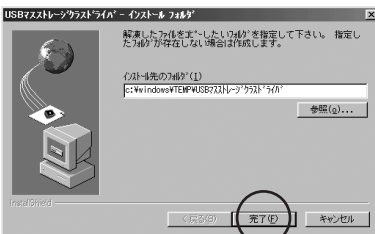
Windows 98SE の場合

USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続するまえに、USB マスストレージクラスドライバを次の手順でインストールしてください。

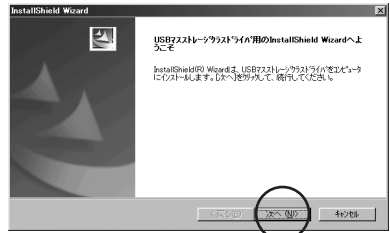
1 「USB マスストレージクラスドライバ」の隣の「インストール」をクリックする

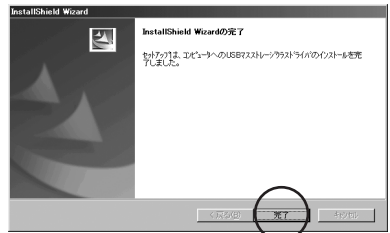
• 画面はビデオカメラの機種 (CD-ROMの種類) によって異なります。

ソフトウェアの説明が表示されます

インストール先を指定する画面が表示されます。

2 「完了」をクリックする

しばらくすると「InstallShield Wizard」が表示されます。

3 「次へ」をクリックする

しばらくすると「InstallShield Wizard の完了」が表示されます。

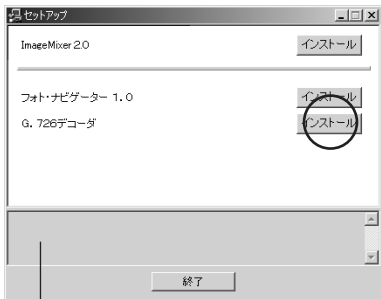
4 「完了」をクリックする

インストールが完了し、「セットアップ」に戻ります。

※続いて、次の「G.726 デコーダ」へ進んでください。

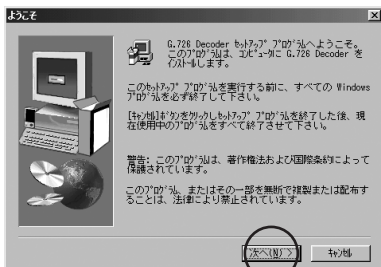
G.726 デコーダ

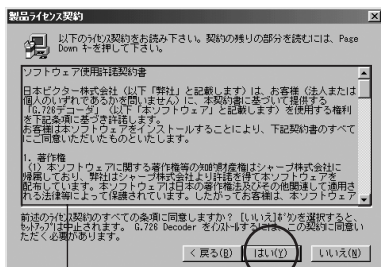
動画ファイル（拡張子ASF）の音声がパソコンで再生できるようになります。

1 「G.726 デコーダ」の隣の「インストール」をクリックする

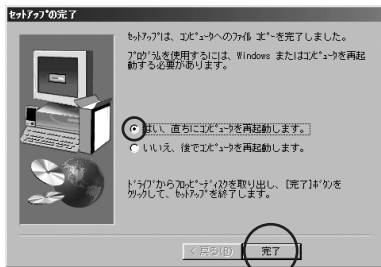
- 画面はOSまたはビデオカメラの機種（CD-ROMの種類）によって異なります。

ソフトウェアの説明が表示されます

しばらくすると「ようこそ」が表示されます。

2 「次へ」をクリックする

「製品ライセンス契約」が表示されます。

3 内容を確認し、「はい」をクリックする

必ず、お読みください

しばらくすると「セットアップの完了」が表示されます。

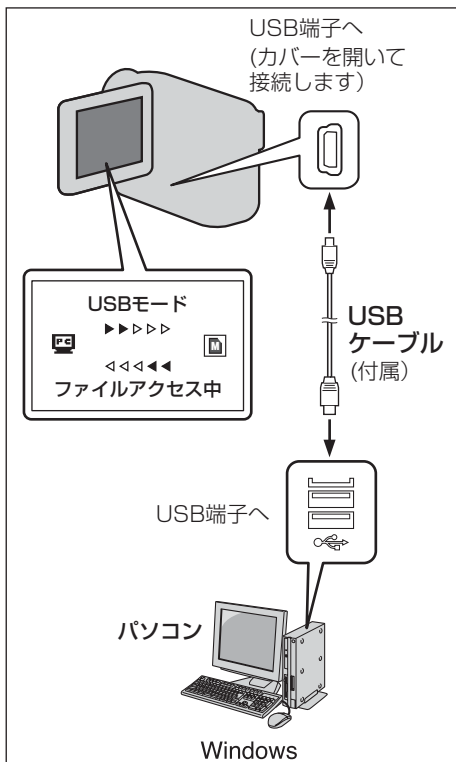
4 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をクリックし、「完了」をクリックする

インストールが完了し、パソコンが再起動します。

※インストールは完了しました。パソコンからCD-ROMを取り出してください。

ビデオカメラを接続する

USB ケーブルで接続する

ご注意

- ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されている間は、絶対に USB ケーブルを取りはずさないでください。
- メモリーカードを交換するときやパソコンの電源を切るときは、USB ケーブルを取りはずしてビデオカメラの電源を切ってください(☞P.19)。

1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

2 メモリーカードがビデオカメラに入っていることを確認する

3 ビデオカメラのモード選択スイッチを「メモリー」の位置にあわせる

4 ビデオカメラの電源スイッチを「再生」の位置にあわせる

ビデオカメラの電源が入ります。

5 USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する

ビデオカメラの液晶画面に「USB モード」と表示されます。

接続を確認する

Windows 98SE/Me/2000 の場合

デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、「リムーバブルディスク」アイコンが表示されていることを確認します。
「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックし、「メモリーカードのなかを見る」(☞P.17) へ進んでください。

Windows XP の場合

接続してしばらくすると、「リムーバブルディスク」が表示されます。
「フォルダを開いてファイルを表示する」を選んで「OK」をクリックし、「メモリーカードのなかを見る」(☞P.17) へ進んでください。

リムーバブルディスクが表示されないときは

■Windows 98SE ですか？

- USB マスストレージクラスドライバをインストールするまえにビデオカメラを USB ケーブルで接続すると、異なるドライバがインストールされ、USB ケーブルを使ってファイルをパソコンに取り込めなくなる場合があります。正しいドライバに更新してください(☞P.74)。

■Windows XP ですか？

- 設定によって、自動的に表示されない場合があります。その場合は、「スタート」メニューの「マイコンピュータ」をクリックし、「マイコンピュータ」のなかにある「リムーバブルディスク」をダブルクリックしてください。

■正しく接続されていますか？

- ビデオカメラに AC アダプターが接続され、電源が入っていることを確認してください。
- USB ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
- 電源つきのUSBハブを使うか、パソコン本体の USB 端子に接続してください。

■USB 端子は Windows に認識されていますか？

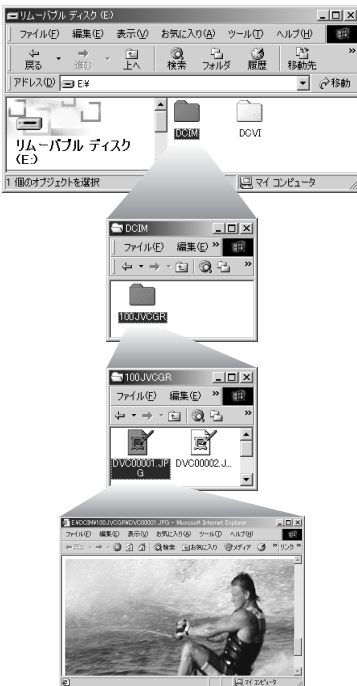
- コントロールパネルの「システム」のプロパティで、ユニバーサルシリアルバス (Universal Serial Bus) コントローラを使えるように設定してください。

メモリーカードのなかを見る

ファイルの種類ごとに異なるフォルダに記録されています。

ご注意

- ファイルやフォルダをメモリーカードから削除すると、ビデオカメラの動作に支障がでることがあります。パソコンではなく、ビデオカメラでファイルを削除してください。
- パソコンでメモリーカードにファイルを保存すると、ビデオカメラの動作に支障がでることがあります。

■静止画を見る場合

※フォルダは、ビデオカメラで静止画または動画を撮影したときに作成されます。

静止画（拡張子 JPG)

「DCIM」フォルダのなかのフォルダにあります。

動画（拡張子 ASF)

「DCVI」フォルダのなかのフォルダにあります。

ファイルをパソコンにコピーする

ご注意

- 「ファイルアクセス中」と表示されている場合は、絶対に USB ケーブルを取りはずさないでください。

1 新しいフォルダを「マイドキュメント」フォルダなどに作成し、フォルダ名をつけてダブルクリックする

- 「My Pictures」フォルダがあるときは、そのなかに作ることもできます。

2 「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックする

- Windows XP では、この手順は必要ありません。

メモリーカードのなかのフォルダが表示されます。

3 コピーするファイルを選ぶ

- ファイルのある場所について
(☞P.17)

4 手順 1 で作成したフォルダに、ファイルをドラッグ＆ドロップする

ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示され、メモリーカードからパソコンにファイルがコピーされます。

ビデオカメラを取りはずす

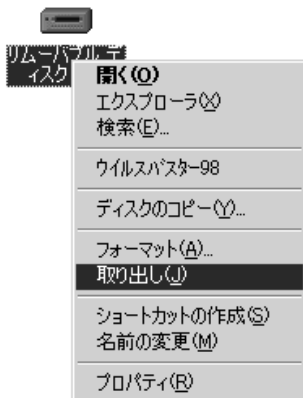
Windows 98SEの場合

1 **ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されていないことを確認する**

- 「ファイルアクセス中」と表示されているときは、消えるまでしばらくお待ちください。

2 **「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」アイコンをマウスの右ボタンでクリックする**

メニューが表示されます。

3 **メニューの「取り出し」をクリックする**

「リムーバブルディスク」アイコンが消えます。

- アイコンが消えない場合は、しばらく待ってから手順４へ進みます。

4 **USBケーブルを取りはずす**

- メッセージが表示されたときは、「OK」をクリックします。

5 **ビデオカメラの電源スイッチを「切」の位置にあわせる**

ビデオカメラの電源が切れます。

Windows Me/2000/XP の場合

1 ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されていないことを確認する

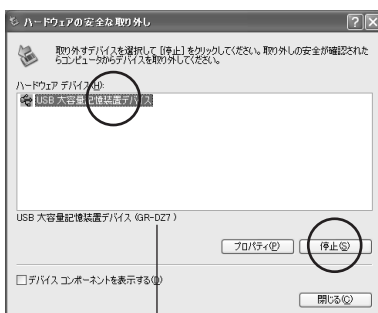
- 「ファイルアクセス中」と表示されているときは、消えるまでしばらくお待ちください。

2 タスクバーの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする

「ハードウェアの取り外し」が表示されます。

- 表示されない場合は、しばらく待ってから手順 6 へ進みます。

3 次のハードウェアデバイスを選び、「停止」をクリックする

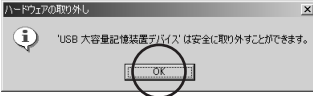
- Windows Me：USB ディスク
- Windows 2000/XP：USB大容量記憶デバイス
- OS によって画面は異なります。

「ハードウェアデバイスの停止」が表示されます。

4 「OK」をクリックする

- OS によって画面は異なります。

安全に取りはずせることを知らせるメッセージが表示されます。

5 「OK」をクリックする

- OS によって画面は異なります。

6 USB ケーブルを取りはずす

7 ビデオカメラの電源スイッチを「切」の位置にあわせる

ビデオカメラの電源が切れます。

ファイルをパソコンで扱う

静止画を表示する

静止画ファイル (拡張子 JPG) をダブルクリックすると、静止画を表示できます。

印刷するには

付属の ImageMixer を使うか (☞P.31)、市販の画像処理アプリケーションをご購入ください。Internet Explorer で印刷すると、正しく印刷できないことがあります。
Windows XP の場合、静止画ファイルを選び、「ファイル」メニューの「印刷」をクリックすると印刷できます。

動画を再生する

動画ファイル (拡張子 ASF) をダブルクリックすると、動画を再生できます。

再生できないときは

■開けない場合

Windows Media Player(バージョン 6.4 以降) が必要です。最新版の Windows Media Player を、マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてください。

http://www.microsoft.com/japan/

■開けるが再生できない場合

インターネットに接続してから、動画ファイルを開いてください。必要なソフトウェアが自動的にダウンロードされ、動画ファイルが再生されます。

■再生されるが音声がでない場合

付属の CD-ROM から G.726 デコーダをインストールしてください (☞P.14)。

2章

メモリーカード(Macintosh)

USB ケーブルを使って、メモリーカードの静止画ファイルや動画ファイルをパソコンのハードディスクにコピーできます。

動作環境（お使いになれるパソコン）

次の条件を満たすパソコンでは、メモリーカードの静止画ファイルや動画ファイルをパソコンへコピーできます。

ハードウェア ： 次のハードウェアを動作対象とします。
iMac、iBook、eMac、Power Mac G4、PowerBook G3、PowerBook G4

OS ： 次の OS を動作対象とします。
- Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2（以下、Mac OS 9）
- Mac OS X 10.1.5、10.2.1 ～10.2.8、10.3.1(以下、Mac OS X)

端子 ： 標準装備の USB 端子

- USB ケーブルの延長ケーブルは使わないでください。
- USB ハブを経由してパソコンに接続すると、ハブとパソコンの相性によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。ハブを使わないでパソコン本体の USB 端子に接続してください。
- 新たに購入したメモリーカード（付属品のメモリーカードを除く）をお使いになる場合は、撮影のまえにビデオカメラでメモリーカードを初期化（フォーマット）してください。ビデオカメラとパソコンを USB ケーブルで接続したときに、ファイルをコピーできないことがあります。

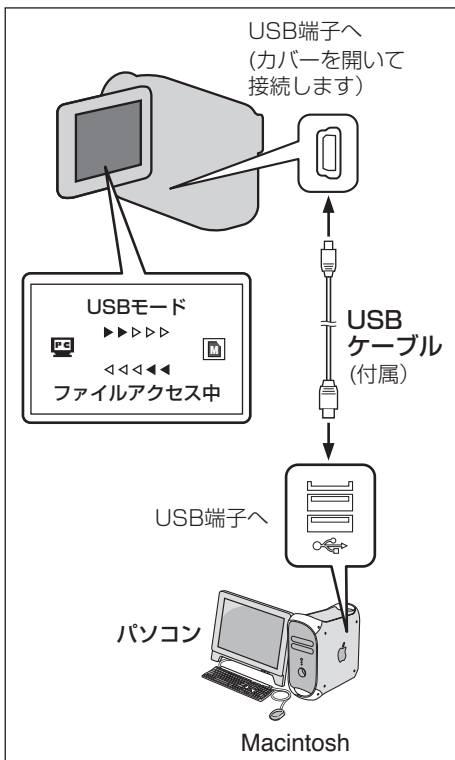
メモ

- この章の画面例は、すべて Mac OS 9 の場合です。Mac OS X では画面が異なりますが、操作は共通です。

ビデオカメラを接続する

USB ケーブルで接続する

ご注意

- ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されている間は、絶対に USB ケーブルを取りはずさないでください。
- メモリーカードを交換するときやパソコンの電源を切るときは、USB ケーブルを取りはずしてビデオカメラの電源を切ってください(☞P.28)。

1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

2 メモリーカードがビデオカメラに入っていることを確認する

3 ビデオカメラのモード選択スイッチを「メモリー」の位置にあわせる

4 ビデオカメラの電源スイッチを「再生」の位置にあわせる

ビデオカメラの電源が入ります。

5 USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する

ビデオカメラの液晶画面に「USB モード」と表示され、デスクトップにメモリーカードのアイコンが表示されます。

メモ

- メモリーカードの名称は「名称未設定」になっています。ほかのディスクやフォルダと区別するために、別の名称に変更しておくことをお勧めします。

メモリーカードのアイコンが表示されないときは

■Mac OS 9.0.4 以降をお使いですか？

- Mac OS 9 ～ 9.0.2 をお使いの場合、USB ケーブルを使って静止画ファイルをパソコンに取り込めない場合があります。Mac OS 9～9.0.2 を 9.0.4 以降にするアップデータは、アップルコンピュータ社のホームページからダウンロードできます。

http://www.apple.co.jp

■Mac OS X ですか？

- 設定によって、自動的に表示されない場合があります。その場合は、Finder の移動メニューから「コンピュータ」を選びます。

■正しく接続されていますか？

- ビデオカメラに AC アダプターが接続され、電源が入っていることを確認してください。
- USB ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
- 電源つきのUSBハブを使うか、パソコン本体の USB 端子に接続してください。

メモリーカードのなかを見る

ファイルの種類ごとに異なるフォルダに記録されています。

ご注意

- ファイルやフォルダをメモリーカードから削除すると、ビデオカメラの動作に支障がでることがあります。パソコンではなく、ビデオカメラでファイルを削除してください。
- パソコンでメモリーカードにファイルを保存すると、ビデオカメラの動作に支障がでることがあります。

■静止画を見る場合

※フォルダは、ビデオカメラで静止画または動画を撮影したときに作成されます。

静止画（拡張子 JPG)

「DCIM」フォルダのなかのフォルダにあります。

動画（拡張子 ASF)

「DCVI」フォルダのなかのフォルダにあります。

画像をパソコンにコピーする

ご注意

- 「ファイルアクセス中」と表示されている間は、絶対に USB ケーブルを取りはずさないでください。

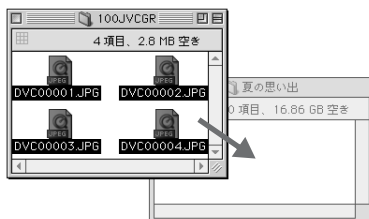
1 新しいフォルダをハードディスクのなかに作成し、フォルダ名をつけてダブルクリックする

2 メモリーカードのアイコンをダブルクリックする

メモリーカードのなかのフォルダが表示されます。

3 コピーするファイルを選ぶ

- ファイルのある場所について
(☞P.26)

4 手順 1 で作成したフォルダに、ファイルをドラッグ＆ドロップする

ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示され、メモリーカードからパソコンにファイルがコピーされます。

ビデオカメラを取りはずす

1 メモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」に捨てる

2 メッセージが表示されたときは、「OK」をクリックする

3 ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されていないことを確認する

- 「ファイルアクセス中」と表示されているときは、消えるまでしばらくお待ちください。

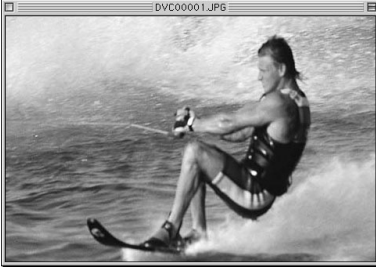
4 USB ケーブルを取りはずす

5 ビデオカメラの電源スイッチを「切」の位置にあわせる

ビデオカメラの電源が切れます。

ファイルをパソコンで扱う

静止画を表示する

静止画ファイル（拡張子 JPG）をダブルクリックすると、静止画を表示できます。

動画を再生する

動画ファイル（拡張子 ASF）を再生するには、Windows Media Player for Mac（バージョン 6.4 以降）をご利用ください。
Windows Media Player for Mac の最新版は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードできます。

http://www.microsoft.com/japan/mac/

3章

ImageMixer (Windows)

静止画や動画を取り込んでアルバムを作ります。静止画の色や明るさを調節したり、動画を編集して DVD Video や Video CD を作ることができます。

動作環境 (お使いになれるパソコン)

OS	:	次の OS のプリインストール版を動作対象とします。OS をアップグレードした場合は、動作を保証しません。 • Windows 98 Second Edition （以下、98SE) (ビデオ映像を取り込むことはできません) • Windows Millennium Edition （以下、Me) • Windows 2000 Professional （以下、2000) • Windows XP Home Edition （以下、XP) • Windows XP Professional （以下、XP)
CPU	:	Intel Pentium III 800MHz 以上 (DVD Video を作るには Intel Pentium 4 1.3GHz 以上を推奨)
RAM	:	128MB 以上 （256MB 以上を推奨)
ハードディスク	:	インストールに約 350MB 以上の空き容量が必要、 60 分の取り込みに約 13GB 以上の空き容量が必要
端子	:	標準装備の IEEE1394(i-LINK) 端子 (テープからビデオ映像を取り込む場合)、 標準装備の USB 端子 （メモリーカードからファイルを読み込む場合)
ディスプレイ	:	800 × 600 ドット以上、16bit color が再生可能なこと
ソフトウェア	:	Internet Explorer 5.5 以降

Windows XP をお使いの場合は

USB ケーブルを使って、テープのビデオ映像を取り込むことができます。取り込みに必要なドライバ (USB ビデオクラスドライバ) は、ImageMixer と共にインストールされます。
次の環境が必要です。

端子	:	標準装備の USB2.0 端子 （USB 2.0 High-Speed)
ソフトウェア	:	Windows XP Service Pack 1 以降

Windows XP Service Pack 1 は、スタートメニューの「すべてのプログラム」－「Windows Update」でアップデートできます。詳しくは、マイクロソフト社のホームページをご覧ください。

http://www.microsoft.com/japan/

DVD Video や Video CD を作る場合は

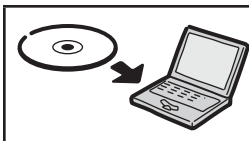
ピクセラ社が対応する記録型 DVD ドライブや CD-R ドライブをご用意ください。対応するドライブの一覧は、ピクセラ社のホームページでご確認ください。

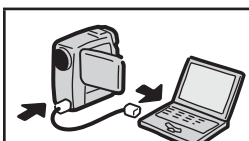
http://www.imagemixer.com/

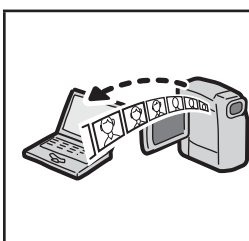
- DVD-RAM メディアには記録できません。
- DirectX 9.0b 以降をインストールできないパソコンでは、使用できません。
- パソコンの環境によっては、正常に動作しないことがあります。

ImageMixer を使うまえにお読みください

テープからビデオ映像を取り込むとき

Windows 98SE では、ビデオ映像を取り込めません。

ソフトウェアをインストールする（☞P.36）
付属の CD-ROM からドライバと ImageMixer をインストールします。
- G.726 デコーダ、DirectX、ImageMixer

▼

ビデオカメラを接続する
ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続します。
- USB ケーブルを使う場合 (Windows XP のみ) (☞P.45)
- DV ケーブルを使う場合 (☞P.48)

▼

ImageMixer でビデオ映像を取り込む
ビデオカメラのテープからパソコンにビデオ映像をコピーできます。
- USB ケーブルを使う場合 (Windows XP のみ) (☞P.46)
- DV ケーブルを使う場合 (☞P.50)

取り込んだビデオ映像は、ImageMixer で編集して DVD Video や Video CD に書き込むことができます。

※ビデオカメラのイラストは、実物と異なります。

メモリーカードからファイルを読み込むとき

1 ソフトウェアをインストールする（☞P.36）

- G.726 デコーダ、DirectX、ImageMixer
- Windows 98SE では、USB マスストレージクラスドライバもインストールします。

2 **USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する**
(☞P.15)

- Windows 98SEでは､USBマスストレージクラスドライバをインストールするまえに接続すると､異なるドライバがインストールされることがあります (☞P.74)。

3 **メモリーカードに入っているファイルをパソコンに読み込む**
(☞P.18)

4 **ImageMixer のアルバムにファイルを登録する**

- ImageMixer　のオンラインヘルプをご覧ください

アルバムを取り扱う上での留意点

ImageMixerのアルバムには､登録したファイルの所在とサムネール画像だけが記録されます。そのため、登録したファイルを移動すると､ImageMixer はファイルのある場所を見失います。
さらに､アルバムでファイルを加工すると元のファイルが加工され､削除すると元のファイルが削除されます。大切なファイルは、必ず別の場所にも保存(バックアップ) しておいてください。

もっと詳しく知るには

本書では、ImageMixerの概要を紹介します。各機能の使いかたについてはオンラインヘルプをご覧ください。
ImageMixer 画面の右上にある「?」ボタンをクリックします。

?ボタン

お問いあわせ先

ImageMixer のご使用方法・ご質問・ご相談につきましては、下記のユーザーサポートセンターまでお電話か FAX にてお問いあわせください。メールでのサポートは行っておりません。

■株式会社　ピクセラ
ユーザーサポートセンター

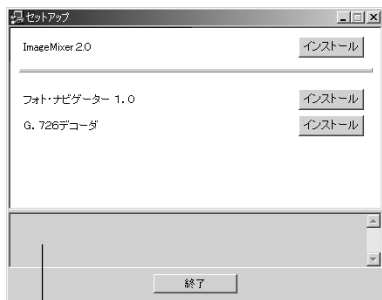
住所	〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 2-10-70　パークスタワー25F
電話番号	06-6633-3900
電話受付	10：00～13：00、 14：00～17：00 (年末年始、祝祭日、所定定休日を除く)
Fax 番号	06-6633-2992
Fax 受付	24 時間
ホームページ	http://www.imagemixer.com/

ソフトウェアをインストールする

CD-ROM をセットする

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

しばらくすると「セットアップ」が表示されます。

- 画面はOS またはビデオカメラの機種（CD-ROM の種類）によって異なります。

※続いて、次の「G.726 デコーダ」へ進んでください。
※Windows 98SE の場合は、「USB マスストレージクラスドライバ」（☞P.12）へ進んでから、次の「G.726 デコーダ」へ進んでください。

メモ

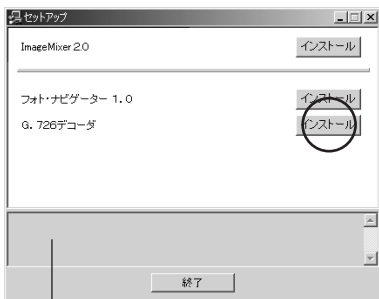
- 「セットアップ」が表示されないときは、「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

Windows XP では、スタートメニューの「マイコンピュータ」をクリックし、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

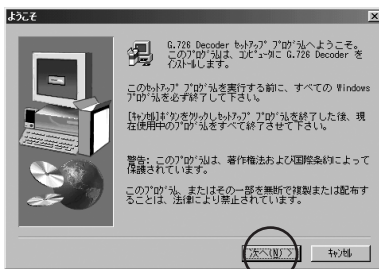
G.726 デコーダ

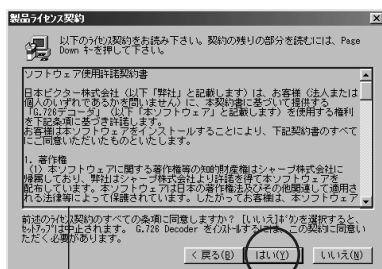
動画ファイル (拡張子 ASF) の音声がパソコンで再生できるようになります。

1 「G.726 デコーダ」の隣の「インストール」をクリックする

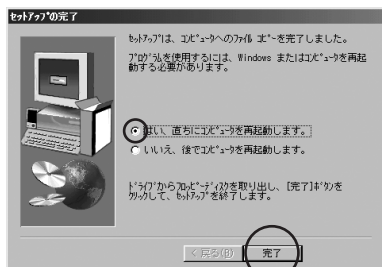
- 画面はOSまたはビデオカメラの機種 (CD-ROM の種類) によって異なります。

ソフトウェアの説明が表示されます

しばらくすると「ようこそ」が表示されます。

2 「次へ」をクリックする

「製品ライセンス契約」が表示されます。

3 内容を確認し、「はい」をクリックする

必ず、お読みください

しばらくすると「セットアップの完了」が表示されます。

4 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をクリックし、「完了」をクリックする

インストールが完了し、パソコンが再起動します。

※続いて、次の「DirectX」へ進んでください。

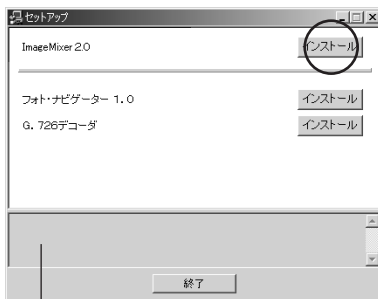
DirectX

ImageMixerの動作に必要なソフトウェアです。

1 マイコンピュータをダブルクリックし、CD-ROM アイコンをダブルクリックする

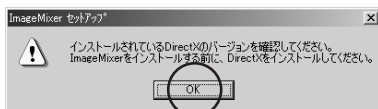
- Windows XPでは、スタートメニューの「マイコンピュータ」をクリックし、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

しばらくすると「セットアップ」が表示されます。

2 「ImageMixer 2.0」の隣の「インストール」をクリックする

- 画面はOS またはビデオカメラの機種（CD-ROM の種類）によって異なります。

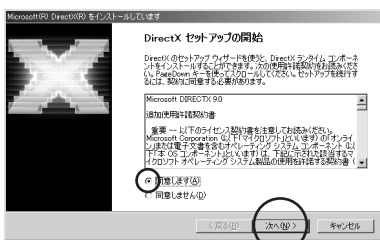
DirectX のバージョンを確認する画面が表示されます。

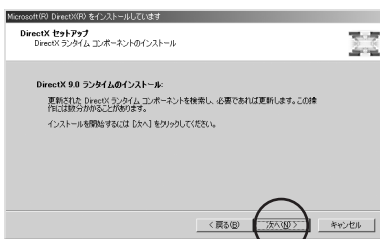
※次の画面が表示されないときは、既に DirectX 9.0b 以降がインストールされています。「ImageMixer」（☞P.39）の手順３へ進んでください。

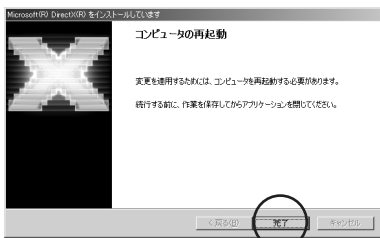
3 「OK」をクリックする

DirectX をインストールすると表示されます。

4 「OK」をクリックする

「DirectX セットアップの開始」が表示されます。

5 「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックする

「DirectX セットアップ」が表示されます。

6 「次へ」をクリックする

しばらくすると「コンピュータの再起動」が表示されます。

7 「完了」をクリックする

インストールが完了し、パソコンが再起動します。

※続いて、次の「ImageMixer」へ進んでください。

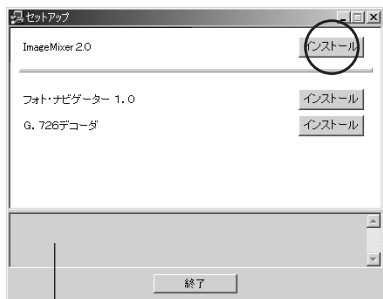
ImageMixer

パソコンに読み込んだ静止画を加工したり、ビデオカメラから動画や静止画を取り込んでDVD VideoやVideo CDを作れるようになります。

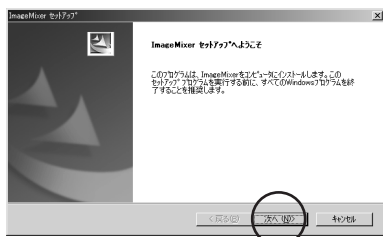
1 マイコンピュータをダブルクリックし、CD-ROMアイコンをダブルクリックする

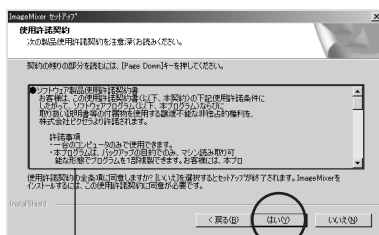
- Windows XPでは､スタートメニューの「マイコンピュータ」をクリックし、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

しばらくすると「セットアップ」が表示されます。

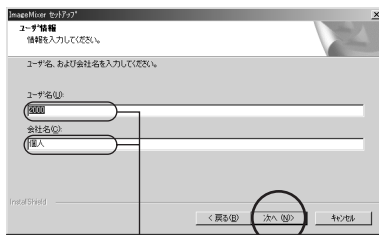
2 「ImageMixer 2.0」の隣の「インストール」をクリックする

- 画面はOSまたはビデオカメラの機種（CD-ROMの種類）によって異なります。

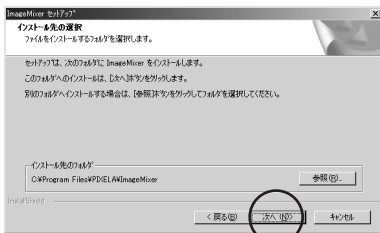
「ImageMixer セットアップ」が表示されます。

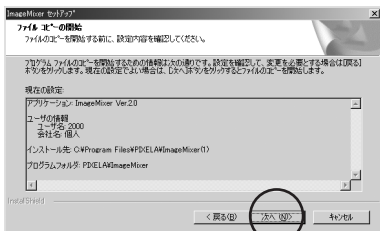
3 「次へ」をクリックする

「使用許諾契約」が表示されます。

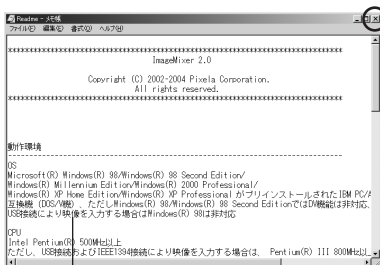
4 内容を確認し、「はい」をクリックする

「ユーザ情報」が表示されます。

5 ユーザ名と会社名を入力し、「次へ」をクリックする

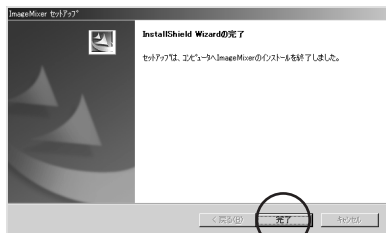
- ユーザ名と会社名を入力しないと「次へ」をクリックできません。個人ユーザの場合も、会社名に何らかの文字を入力してください。

「インストール先の選択」が表示されます。

6 「次へ」をクリックする

「ファイルコピーの開始」が表示されます。

7 「次へ」をクリックする

しばらくすると「Readme.txt」が表示されます。

8 内容を確認し、ウィンドウ右上の「×」をクリックする

必ず、お読みください

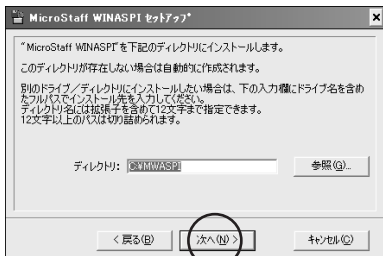
ウィンドウが閉じ、「InstallShield Wizard の完了」が表示されます。

9 「完了」をクリックする

- Windows 98SE/Me の場合は、手順 21 へ進みます。
- Windows 2000/XP の場合は、手順 10 へ進みます。

10 「OK」をクリックする

「MicroStaff WINASPI セットアップ」が表示されます。

11 セットアップの終了画面が表示されるまで、「次へ」をクリックする

次へ続く

12 次の画面が表示された場合は、「上書き」をクリックする

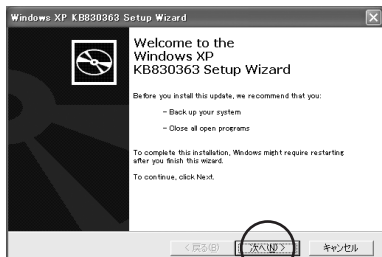
13 「終了」をクリックする

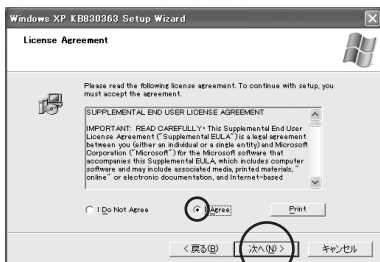
- 再起動を求めるメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックします。再起動は、手順 21 のあとで行われます。

- Windows 2000 の場合は、手順 21 へ進みます。
- Windows XP の場合は、手順 14 へ進みます。

14 「WINASPI」フォルダが開いている場合、ウィンドウ右上の「×」をクリックする

「WINASPI」フォルダのウィンドウが閉じます。

15 「Welcome to the Windows XP KB830363 Setup Wizard」の「次へ」をクリックする

「License Agreement」が表示されます。

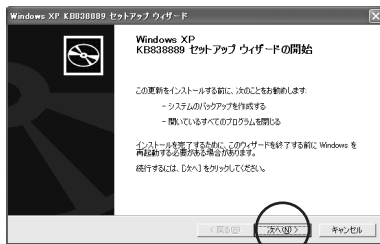
16 「I Agree」をクリックし、「次へ」をクリックする

しばらくすると「Completing the Windows XP KB830363 Setup Wizard」が表示されます。

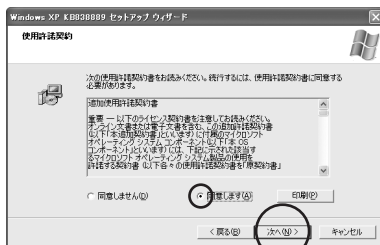
- 「Setup Error」と表示されたときは、既に KB830363 以降がインストールされています。「OK」をクリックして手順 18 へ進んでください。

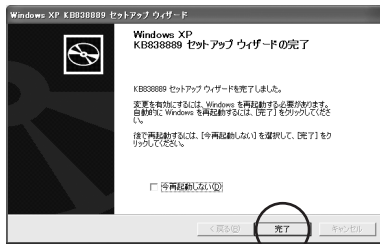
17 「完了」をクリックする

「Windows XP KB838889* セットアップウィザードの開始」が表示されます。

＊838889 以外の数字が表示されることがあります。問題ありませんので、そのままインストールを続けてください。

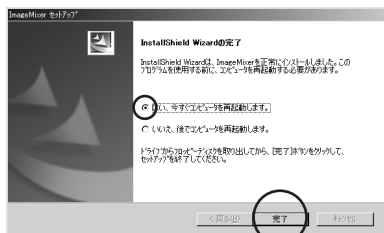
18 「次へ」をクリックする

「使用許諾契約」が表示されます。

19 「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックする

しばらくすると「Windows XP KB838889 セットアップウィザードの完了」が表示されます。

20 「完了」をクリックする

「InstallShield Wizard の完了」が表示されます。

- 再起動は、手順 21 のあとで行われます。

次へ続く

21 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」をクリックし、「完了」をクリックする

インストールが完了し、パソコンが再起動します。

※インストールはすべて完了しました。パソコンから CD-ROM を取り出してください。

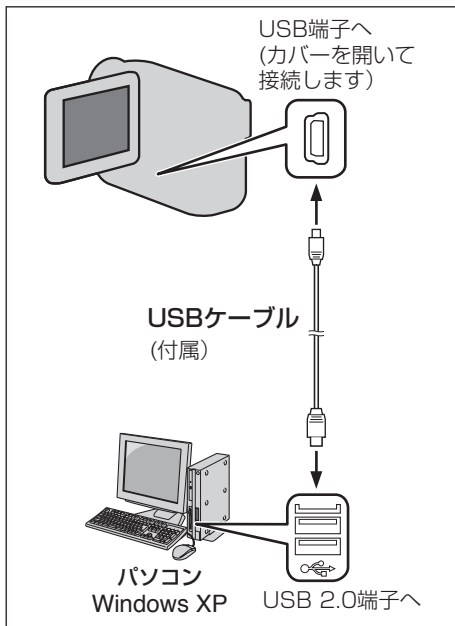
ビデオ映像を取り込む

USB ケーブルで取り込む (Windows XP)

お使いのパソコンに USB 2.0 端子が標準装備されている場合、付属の USB ケーブルを使ってビデオ映像を取り込むことができます。
USB 2.0 端子が標準装備されていない場合や、Windows Me/2000 の場合は、別売の DV ケーブルをお使いください (☞P.48)。

ご注意

- ビデオカメラとパソコンを接続しているあいだは、ビデオカメラのモード選択スイッチと電源スイッチを動かさないでください。
- USBケーブルとDVケーブルを同時に接続しないでください。

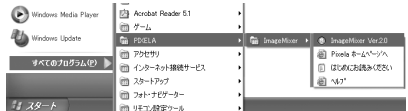
ビデオカメラを接続する

1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

2 ビデオカメラのモード選択スイッチを「ビデオ」の位置にあわせる

3 ビデオカメラの電源スイッチを「再生」の位置にあわせる

ビデオカメラの電源が入ります。

4 USB ケーブルで、ビデオカメラとパソコンを接続する

5 スタートメニューの「すべてのプログラム」ー「PIXELA」ー「ImageMixer」を順にポイントし、「ImageMixer Ver. 2.0」をクリックする

- デスクトップの「ImageMixer Ver. 2.0」アイコンをダブルクリックすることもできます。

ImageMixer が立ち上がります。

6 左端のボタンをクリックする

入力モードになります。

7 DV-USB映像入力ボタンをクリックする

映像入力モードの画面が表示されます。

- ImageMixer にビデオカメラの画面が表示されない場合は、ビデオカメラの電源スイッチを一度「切」の位置にあわせてから、「再生」の位置に戻します。それでもビデオカメラの画面が表示されない場合は、USB ケーブルを接続してビデオカメラの電源を入れたまま、パソコンを再起動します。

ビデオカメラのテープから取り込む

動画の取り込み

1 動画ボタンをクリックする

保存先の空き容量が、情報表示パネルに表示されます。

2 再生ボタンをクリックする

ビデオカメラでビデオが再生され、パソコンに同じ動画が表示されます。

3 動画の表示が安定してから、キャプチャボタンをクリックする

取り込みが開始され、「動画取り込み中」と表示されます。

4 もう一度キャプチャボタンをクリックする

取り込みと変換が終了すると、動画ファイル (拡張子 avi、DV 形式) がアルバムに登録されます。

静止画の取り込み

1 静止画ボタンをクリックする

「デッキは非表示状態です」と情報表示パネルに表示されます。

2 再生ボタンをクリックする

ビデオカメラでビデオが再生され、パソコンに同じ動画が表示されます。

3 動画の表示が安定してから、キャプチャボタンをクリックする

クリックした瞬間が静止画として取り込まれ、静止画ファイルがアルバムに登録されます。

ビデオカメラを取りはずす

1 USB ケーブルを取りはずす

2 ビデオカメラの電源スイッチを「切」の位置にあわせる

ビデオカメラの電源が切れます。

- ImageMixer が動作しなくなったときは、USB ケーブルを取りはずし、USB ケーブルを接続しなおします。
- パソコンと接続している場合は、ビデオカメラの DV ナビ機能と、テープからメモリーカードへのコピー機能をご利用になれません。

DV ケーブルで取り込む (Windows Me/2000/XP)

お使いのパソコンに IEEE1394 (i-LINK) 端子が標準装備されている場合、別売の DV ケーブルを使ってビデオ映像を取り込むことができます。

ご注意

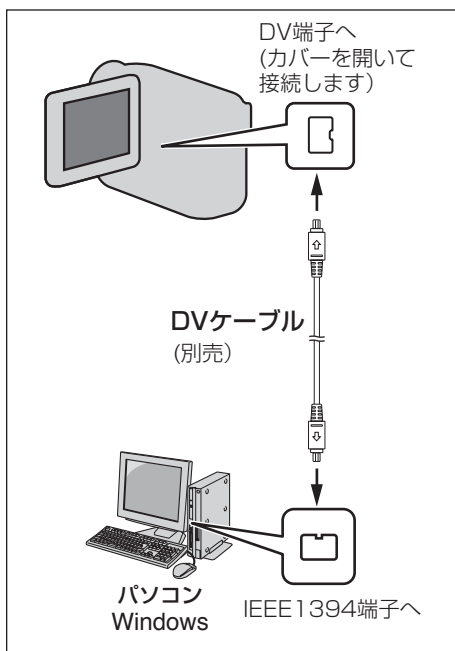
- ビデオカメラとパソコンを接続しているあいだは、ビデオカメラのモード選択スイッチと電源スイッチを動かさないでください。
- DV ケーブル (プラグ) の向きを確かめてから接続してください。間違った向きで無理に接続すると、ビデオカメラやパソコンが故障することがあります。
- DV ケーブルは、最初にパソコンに接続し、次にビデオカメラに接続してください。順序を逆にすると、ビデオカメラやパソコンが故障することがあります。

DV ケーブルを用意する

DV ケーブルをお買い求めになる際は、お使いのパソコンの IEEE1394 端子の形状をご確認ください。IEEE1394 端子には、ビデオカメラのDV 端子と同じ形状の4 ピン型と、より大きい 6 ピン型の 2 種類があります。

DV 端子と同じ形状の場合：
4 ピンー 4 ピン用の DV ケーブル (VC-VDV204 など) を使います。

DV 端子より大きい場合：
4 ピンー 6 ピン用の DV ケーブル (VX-DV210E など) を使います。

ビデオカメラを接続する

1 **ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する**

2 **ビデオカメラのモード選択スイッチを「ビデオ」の位置にあわせる**

3 **ビデオカメラの電源スイッチを「再生」の位置にあわせる**

ビデオカメラの電源が入ります。

4 **DV ケーブルを、パソコンの IEEE1394 端子に接続する**

5 **DV ケーブルのもう一方の端を、ビデオカメラに接続する**

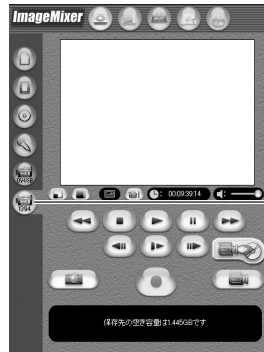
6 スタートメニューの「プログラム」－「PIXELA」－「ImageMixer」を順にポイントし、「ImageMixer Ver. 2.0」をクリックする

- デスクトップの「ImageMixer Ver. 2.0」アイコンをダブルクリックすることもできます。

ImageMixer が立ち上がります。

7 左端のボタンをクリックする

入力モードになります。

8 1394映像入力ボタンをクリックする

映像入力モードの画面が表示されます。

- ImageMixer にビデオカメラの画面が表示されない場合は、DV ケーブルを接続してビデオカメラの電源を入れたまま、パソコンを再起動します。

ビデオカメラのテープから取り込む

動画の取り込み

1 **動画ボタンをクリックする**

保存先の空き容量が、情報表示パネルに表示されます。

2 **再生ボタンをクリックする**

ビデオカメラでビデオが再生され、パソコンに同じ動画が表示されます。

3 **動画の表示が安定してから、キャプチャボタンをクリックする**

取り込みが開始され、「動画取り込み中」と表示されます。

4 **もう一度キャプチャボタンをクリックする**

取り込みと変換が終了すると、動画ファイル (拡張子 avi、DV 形式) がアルバムに登録されます。

静止画の取り込み

1 **静止画ボタンをクリックする**

「デッキは非表示状態です」と情報表示パネルに表示されます。

2 **再生ボタンをクリックする**

ビデオカメラでビデオが再生され、パソコンに同じ動画が表示されます。

3 **動画の表示が安定してから、キャプチャボタンをクリックする**

クリックした瞬間が静止画として取り込まれ、静止画ファイルがアルバムに登録されます。

ビデオカメラを取りはずす

1 DV ケーブルを取りはずす

2 ビデオカメラの電源スイッチを「切」の位置にあわせる

ビデオカメラの電源が切れます。

- ImageMixer が動作しなくなったときは、DV ケーブルを取りはずし、DV ケーブルを接続しなおします。
- パソコンと接続している場合は、ビデオカメラの DV ナビ機能と、テープからメモリーカードへのコピー機能をご利用になれません。

DVD Video を作る

ビデオカメラで撮影した動画を使って、テープからダイレクトに DVD Video を作ることができます（ダイレクト DVD Video 作成)。
動画ファイルを編集してから作る場合や、DVD Video にタイトル画面をつける場合は、「動画ファイルから DVD Video などを作る」(☞P.56) をご覧ください。

ご注意

- ビデオカメラとパソコンを接続しているあいだは、ビデオカメラのモード選択スイッチと電源スイッチを動かさないでください。

1 ビデオカメラをパソコンと接続する

- テープから取り込むときと同じ方法で接続します (☞P.45、48)。

2 ビデオカメラを操作して DVD Video にする場面を探し、場面の直前で停止する

- ImageMixer　のボタンで操作することもできます。

3 未使用の DVD メディアを、記録型 DVD ドライブにセットする

- DVD-RAM 以外のメディアをお使いください。
- お使いの記録型 DVD ドライブの取扱説明書をご覧の上、記録できるメディアの種類をご確認ください。

4 DVD 作成ボタンをクリックする

「ImageMixer DVD Creation」が表示されます。

5 「ドライブ選択」をクリックし、お使いの記録型 DVD ドライブを選ぶ

6 「オプション」をクリックする

「作業フォルダの場所」が表示されます。

7 「作業フォルダの場所」を確認し、「OK」をクリックする

「ImageMixer DVD Creation」に戻ります。

8 「開始」をクリックする

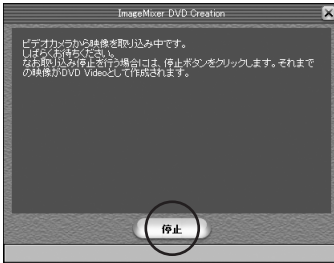
作成できるDVD Videoの時間が表示されます。

- 作成できるDVD Videoの時間が短いときは、手順 6 に戻り、「作業フォルダの場所」を十分な空き容量がある場所に変更します。

9 「OK」をクリックする

「ビデオカメラから映像を取り込み中です。」と表示され、ビデオカメラで動画が再生されます。

10 DVD Video にする場面が終了したら、「停止」をクリックする

- 取り込みを開始してから約60分経つか、テープの終わりになると、自動的に停止します。

「映像データの変換中」と表示され、ビデオカメラの再生が停止します。

しばらくすると、「最終処理中です。」と表示されます。

11 次の画面が表示されるまで待ち、表示されたら「終了」をクリックする

- 同じディスクをもう 1 枚作るときは、「開始」をクリックします。

- DVD Video の作成には時間がかかります。お使いのパソコンの環境によっては、動画時間の10倍以上の時間がかかることがあります。
- 約 20 分ごとにキャプチャー (画像取り込み) が一時的に停止するため、できあがった DVD Video では、この部分が数秒間欠落することがあります。
- DVD-RAM メディアには記録できません。
- DVD Videoは、記録型DVD ドライブやDVD プレーヤーの仕様、またはディスクの状態によって正しく再生できないことがあります。

ファイルを管理する

アルバムに登録したファイル (静止画、動画、音声) を目的に応じて分類・検索・変更できます。ファイルサイズを変更することもできます。
ビデオカメラのメモリーカードからファイルをコピーする方法については、第 1 章をご覧ください。

再生するには、サムネールをダブルクリックします。

ファイルサイズを小さくするには

静止画の場合

静止画のサムネールを選んで、メニューから「画像編集」または「静止画への変換」を選び、画像サイズや画像形式を変更してください。

動画の場合

動画のサムネールを選んで、メニューから「動画への変換」を選び、ファイル形式を MPEG1 形式 (拡張子 MPG) や MPEG4形式 (拡張子 ASF) に変更してください。

- MPEG4 形式(拡張子 ASF)に変換できない場合は、WindowsMedia Player(バージョン 7 以降)をインストールしてください。WindowsMedia Player の最新版は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードできます。

http://www.microsoft.com/japan/

動画ファイルを編集する

アルバムに登録した動画ファイルを編集できます。静止画を挿入したり、音声を加えることもできます。

画面下側に並べたサムネール (動画、静止画) をダブルクリックすると、編集ウィンドウが表示されます。動画の前後を削除したり、音量を調節できます。静止画は表示時間を調節できます。

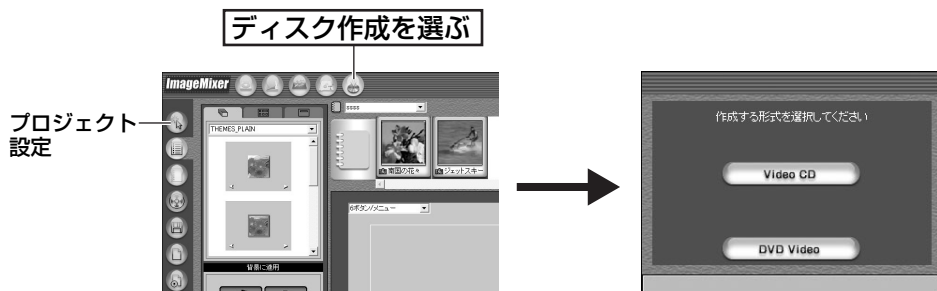
編集した結果を確認するにはプレビューボタンをクリックします。

編集が終了したら、動画作成ボタンをクリックし、目的に応じて設定して「OK」をクリックします。

- DVD Video を作る場合　:「MPEG2」と「NTSC」
- Video CD を作る場合　　:「VideoCD」と「NTSC」

- ビデオカメラへ映像を書き戻すことはできません。
- 動画の作成には時間がかかります。お使いのパソコンの環境によっては、動画時間の 10 倍以上の時間がかかることがあります。

動画ファイルから DVD Video などを作る

アルバムに登録した動画ファイルを使うと、DVD Video や Video CD のタイトル画面を自由にデザインできます。さらに、動画ファイルをあらかじめ編集しておくことで、市販の DVD Video などのような作品に仕上げることができます。

プロジェクト設定ボタンをクリックし、Video CD と DVD Video のどちらかを選びます。

動画のサムネールを配置し、メニューのスタイルを選び、タイトルとボタン名を設定します。

動作を確認してから、未使用のメディアを記録型DVD ドライブや CD-R ドライブにセットし、作成ボタンをクリックします。DVD Video や Video CD の作成画面が表示されるので、設定を行い、OK をクリックします。

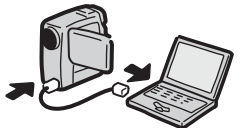
- DVD Video の作成には時間がかかります。お使いのパソコンの環境によっては、動画時間の 10 倍以上の時間がかかることがあります。
- DVD-RAM メディアには記録できません。
- Video CD は、Video CD 2.0 規格に対応したプレーヤーで再生してください。非対応のプレーヤーでは再生できません。
- DVD Video は、記録型DVD ドライブやDVD プレーヤーの仕様、またはディスクの状態によって正しく再生できないことがあります。

4章
フォト・ナビゲーター(Windows)

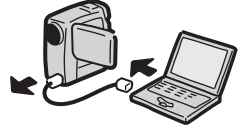
インターバルショット機能を使って撮影した静止画ファイルから、動画ファイルを作ることができます。また、静止画を取り込んでアルバムを作ることができます。

動作環境（お使いになれるパソコン）

次の条件を満たすパソコンでは、付属のフォト・ナビゲーターを使うことができます。

OS	：	次の OS のプリインストール版を動作対象とします。OS をアップグレードした場合は、動作を保証しません。 • Windows 98 Second Edition （以下、98SE) • Windows Millennium Edition （以下、Me) • Windows 2000 Professional （以下、2000) • Windows XP Home Edition （以下、XP) • Windows XP Professional （以下、XP)
CPU	：	Intel MMX Pentium 200MHz 以上
RAM	：	64MB 以上
ハードディスク	：	インストールに約 10MB 以上必要（500MB 以上の空き容量を推奨)
端子	：	標準装備の USB 端子
ディスプレイ	：	800 × 600 ドット以上、16bit color が再生可能なこと
ソフトウェア	：	Internet Explorer 5.5 以降

• USB ケーブルの延長ケーブルは使わないでください。
• USB ハブを経由してパソコンに接続すると、ハブとパソコンの相性によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。ハブを使わないでパソコン本体の USB 端子に接続してください。
• 新たに購入したメモリーカード（付属品のメモリーカードを除く）をお使いになる場合は、撮影のまえにビデオカメラでメモリーカードを初期化（フォーマット）してください。ビデオカメラとパソコンを USB ケーブルで接続したときに、ファイルをコピーできないことがあります。
• パソコンの環境によっては、正常に動作しないことがあります。

フォト・ナビゲーターを使うまでの流れ

	ソフトウェアをインストールする (☞P.62) 付属の CD-ROM からドライバとフォト・ナビゲーターをインストールします。 • USB マスストレージクラスドライバ(Windows 98SE のみ) • フォト・ナビゲーター
	ビデオカメラを接続する (☞P.15) USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続します。 • USB マスストレージクラスドライバをインストールするまえに接続すると、異なるドライバがインストールされることがあります（Windows 98SEのみ）(☞P.74)。
	ファイルをパソコンにコピーする (☞P.18) ビデオカメラのメモリーカードから、静止画ファイルをパソコンへコピーします。
	ビデオカメラを取りはずす (☞P.19) ビデオカメラをパソコンから取りはずし、電源を切ります。
	フォト・ナビゲーターを使う (☞P.66) アルバムに写真を貼るように静止画を読み込むことができます。また、メールに添付して送ることができます。

※ビデオカメラのイラストは、実物と異なります。

ソフトウェアをインストールする

CD-ROMをセットする

1 付属のCD-ROMをパソコンにセットする

しばらくすると「セットアップ」が表示されます。

- 画面はOSまたはビデオカメラの機種（CD-ROMの種類）によって異なります。

※続いて、次の「USB マスストレージクラスドライバ」へ進んでください。

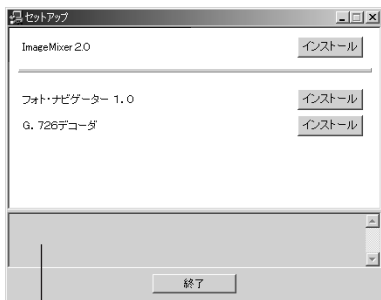
メモ

- 「セットアップ」が表示されないときは、マイコンピュータをダブルクリックして CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

Windows XPでは、スタートメニューの「マイコンピュータ」をクリックし、CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

USBマスストレージクラスドライバ

ビデオカメラのメモリーカードがパソコンで読み書きできるようになります。

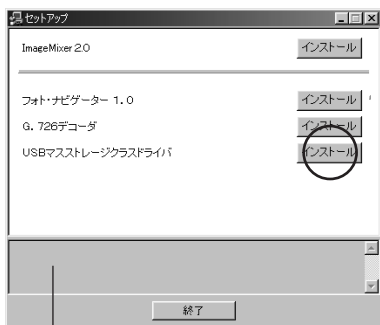
Windows Me/2000/XPの場合

ドライバのインストールは必要ありません。USB ケーブルで接続するだけでビデオカメラのメモリーカードをパソコンで読み書きできます。

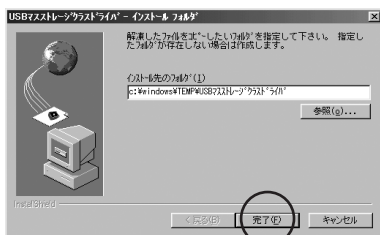
※「フォト・ナビゲーター」(☞P.64) へ進んでください。

Windows 98SE の場合

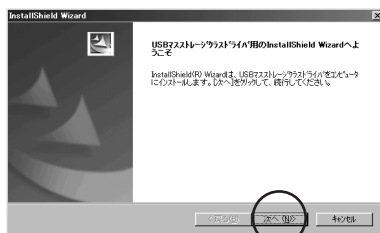
USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続するまえに、USB マスストレージクラスドライバを次の手順でインストールしてください。

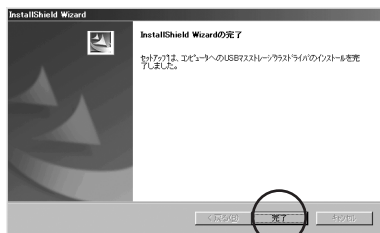
1 「USB マスストレージクラスドライバ」の隣の「インストール」をクリックする

- 画面はビデオカメラの機種（CD-ROMの種類）によって異なります。

ソフトウェアの説明が表示されます

インストール先を指定する画面が表示されます。

2 「完了」をクリックする

しばらくすると「InstallShield Wizard」が表示されます。

3 「次へ」をクリックする

しばらくすると「InstallShield Wizard の完了」が表示されます。

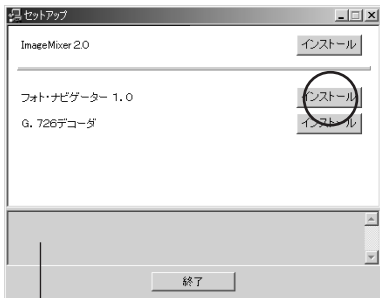
4 「完了」をクリックする

インストールが完了し、「セットアップ」に戻ります。

※続いて、次の「フォト・ナビゲーター」へ進んでください。

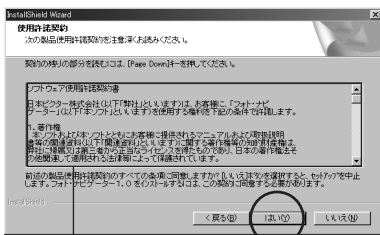
フォト・ナビゲーター

静止画を読み込んでアルバムを作れるようになります。

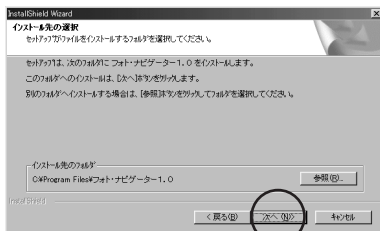
1 「フォト・ナビゲーター 1.0」の隣の「インストール」をクリックする

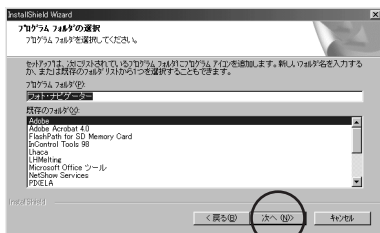
- 画面はOSまたはビデオカメラの機種（CD-ROM の種類）によって異なります。

ソフトウェアの説明が表示されます

しばらくすると「使用許諾契約」が表示されます。

2 内容を確認し、「はい」をクリックする

必ず、お読みください

「インストール先の選択」が表示されます。

3 「次へ」をクリックする

「プログラムフォルダの選択」が表示されます。

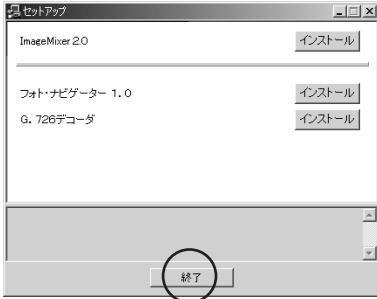
4 「次へ」をクリックする

しばらくすると「デスクトップにアイコンを作成しますか？」と表示されます。

5 どちらかのボタンをクリックする

インストールが完了し、「セットアップ」に戻ります。

「はい」をクリックしたときは、デスクトップにフォト・ナビゲーターのアイコンが作られます。

6 「終了」をクリックする

- 画面はOSまたはビデオカメラの機種（CD-ROM の種類）によって異なります。

「セットアップ」が閉じます。

※インストールは完了しました。パソコンから CD-ROM を取り出してください。

フォト・ナビゲーターの使いかた

おもな機能

フォト・ナビゲーターを使うと、ビデオカメラで撮影した静止画をさまざまな方法で、友人や家族に送ることができます。
さらに、ビデオカメラのインターバルショット機能で撮影した静止画をつなげて、動画(アニメーション)を作成できます。
詳しくは、オンラインマニュアルの「フォト・ナビゲーター取扱説明書」をご覧ください。

■静止画ファイルを読み込んでアルバムを作る

■メールに静止画ファイルを添付する

■アルバムの内容を Web ページとして保存する

■静止画をつなげて動画（スライドショーやアニメーション）を作る

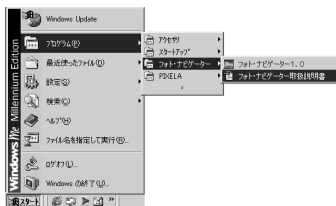
■ファイルサイズを指定して、アルバムから静止画を取り出す

- フォト·ナビゲーターでは印刷できません。印刷するときはアルバムから取り出してください。

オンラインマニュアルの読みかた

オンラインマニュアルは、スタートメニューから選択して表示できます。なお、オンラインマニュアルを読むには、Adobe 社の Acrobat Reader 3.0 以降、または Adobe Reader 6.0 以降が必要です。

1 「スタート」をクリックし、「プログラム」-「フォト・ナビゲーター」の順にポイントし、「フォト・ナビゲーター取扱説明書」をクリックする

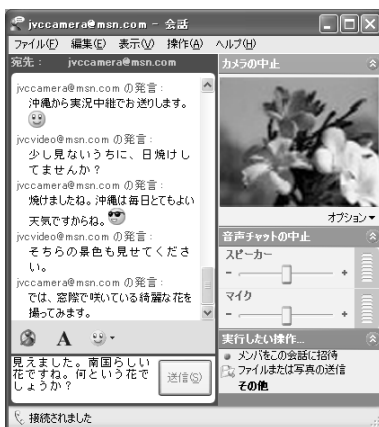
「フォト·ナビゲーター取扱説明書」が表示されます。

メモ

- Adobe Readerは、Adobe 社のホームページからダウンロードできます。

http://www.adobe.co.jp/

5章

ビデオチャット(Windows XP)

インターネットへの常時接続回線をお使いの場合、ビデオカメラを使ってテレビ電話（ビデオチャット）を実現できます。

動作環境（お使いになれるパソコン）

次の条件を満たすパソコンでは、ビデオカメラを使ってビデオチャットを行うことができます。

OS	：	次の OS のプリインストール版を動作対象とします。OS をアップグレードした場合は、動作を保証しません。 • Windows XP Home Edition （以下、XP） • Windows XP Professional （以下、XP）
CPU	：	Intel Pentium 233MHz 以上
RAM	：	128MB 以上
端子	：	標準装備の IEEE1394（i-LINK）端子
ソフトウェア	：	Windows Messenger Ver4.6 以降

通話相手にも Windows Messenger Ver4.6 以降が必要です。
Windows Messenger の最新版は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードできます。

http://www.microsoft.com/japan/

通話相手が Windows XP 以外の OS をお使いの場合は通話できません。
詳しくは、Windows Messenger のヘルプをご覧ください。

※ビデオチャットには、インターネットへ接続できる回線と、メールアドレスが必要です。あらかじめご用意ください。

- DV ケーブルの延長ケーブルは使わないでください。
- パソコン本体の IEEE1394 端子に接続してください。
- 加入されているインターネット接続プロバイダによっては、Windows Messenger を使えないことがあります。使えるかどうかは、加入されているプロバイダにお問いあわせください。
- インターネット接続にファイアウォールやルータを介すると、正常に動作しない場合があります。
- インターネット接続にダイヤルアップルータやブロードバンドルータをお使いの場合は、ルータの取扱説明書をご覧ください。
- 通話中の画像や音声の品質は、通信回線の状態に左右されます。
- パソコンの環境によっては、正常に動作しないことがあります。

準備と操作の流れ

	TV カメラとして接続する（☞P.70） DV ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続します。

▼

	Windows Messenger を準備する（☞P.71） アプリケーションを設定します。

▼

	ビデオチャットする（☞P.72） ビデオカメラとパソコンを使って、ビデオチャットを行います。

※ビデオカメラのイラストは、実物と異なります。

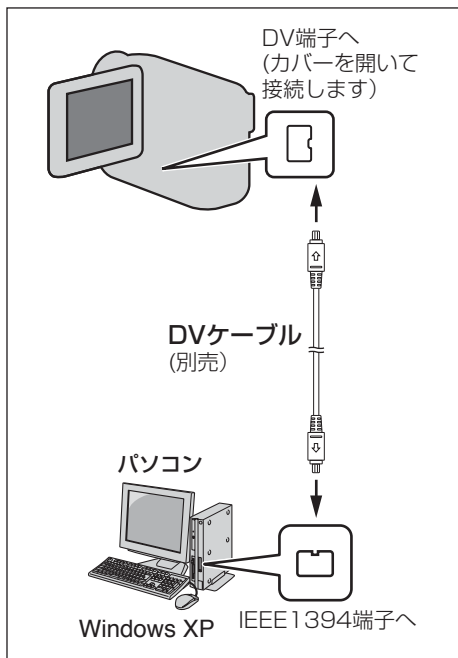
TV カメラとして接続する

ご注意

- ビデオカメラとパソコンを接続しているあいだは、ビデオカメラのモード選択スイッチと電源スイッチを動かさないでください。
- DV ケーブル (プラグ) の向きを確かめてから接続してください。間違った向きで無理に接続すると、ビデオカメラやパソコンが故障することがあります。
- DV ケーブルは、最初にパソコンに接続し、次にビデオカメラに接続してください。順序を逆にすると、ビデオカメラやパソコンが故障することがあります。

DV ケーブルを用意する

DV ケーブルをお買い求めになる際は、お使いのパソコンの IEEE1394 端子の形状をご確認ください (☞P.48)。

ビデオカメラを接続する

1 **ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する**

2 **ビデオカメラのモード選択スイッチを「ビデオ」の位置にあわせる**

3 **ビデオカメラの電源スイッチを「撮影」または「M」の位置にあわせる**

ビデオカメラの電源が入ります。

4 **DV ケーブルを、パソコンの IEEE1394 端子に接続する**

5 **DV ケーブルのもう一方の端を、ビデオカメラに接続する**

メモ

- ビデオカメラで再生している映像を、Windows Messenger で送信することもできます。このときは、テープから取り込むときの方法で DV ケーブルを接続します (☞P.45)。

Windows Messenger を準備する

はじめて通話するときに必要な操作です。

1 インターネットに接続する

2 Windows Messenger を立ち上げ、設定する

- 自分や通話相手のメールアドレスなどを登録します。詳しくは、Windows Messengerのヘルプをご覧ください。

3 DV ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する（☞P.70）

4 Windows Messenger の初期画面で、「ツール」メニューの「オーディオ（とビデオの）チューニングウィザード」を選ぶ

5 「AVC Compliant DV Device」または「JVC DV デバイス」を選び、「次へ」をクリックする

6 ビデオカメラからの映像が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックする

7 マイクとスピーカを設定し、「次へ」をクリックする

- マイク：「AVC Compliant DV Device」または「JVC DV デバイス」
- スピーカ：お使いのサウンドボードの名称

8 「テスト」をクリックして、お使いのスピーカ（ヘッドホン）から音が出てくることを確認し、「次へ」をクリックする

9 マイクの音量を確認する

- ビデオカメラのマイクに普通に話しかけ、緑色のバーが黄色の範囲に入ることを確認します。
- バーが振れないときは、ビデオカメラの電源を切り、手順 3 からやりなおします。

10 ウィザードを終了するまで「次へ」をクリックする

11 Windows Messenger を終了する

ビデオチャットする

1 **インターネットに接続する**

2 **DVケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する**（☞P.70）

3 **Windows Messengerを立ち上げ、サインインする**

4 **Windows Messengerの画面で、自分を含めてオンラインになっている人がいることを確認する**

- オンラインになっている人が自分だけの場合は、通話できません。

5 **通話相手をマウスの右ボタンでクリックする**

メニューが表示されます。

6 **メニューの「ビデオチャットの開始」をクリックする**

会話画面が表示され、通話相手の返答を待つ状態になります。

- 通話相手が「承諾」をクリックすると、ビデオチャットが始まります。通話相手にも同等の環境が必要です。

映像が映らないときは

Windows Messengerのアップデート

Windows Messenger Ver4.6以降にアップデートしてください（☞P.68）。

Windows XPのアップデート

「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」の「Windows Update」をクリックします。詳しくは、Windows XPのヘルプとマイクロソフト社のホームページをご覧ください。

http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/

6章
その他

付属のソフトウェアが正常に動作しない場合の対処方法などについて記載しています。

画像や音声を取り込めないときは（Windows 98SE）

Windows 98SE をお使いの場合、USB マスストレージクラスドライバをインストールするまえにビデオカメラを USB ケーブルで接続すると、異なるドライバがインストールされ、USB ケーブルを使って静止画ファイルをパソコンに取り込めなくなる場合があります。
このような場合は、下記の手順にしたがってデバイスドライバを更新します。

ご注意

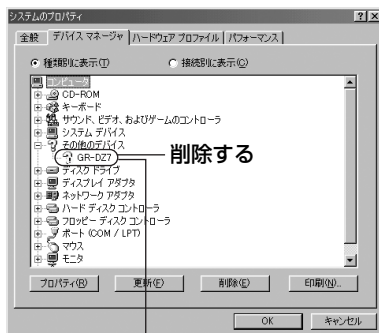
- USB オーディオ機器をパソコンに接続している場合は、次の操作を行うまえに、その機器をパソコンから取りはずしてください。

1 USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する

- 接続するには（☞P.15）

2 「コントロールパネル」の「システム」を開く

3 「デバイスマネージャ」タブを選ぶ

4 「その他のデバイス」のなかに「Victor」またはお使いのビデオカメラの型名がある場合は、削除する

5 ビデオカメラから USB ケーブルを取りはずし、パソコンを再起動する

6 付属の CD-ROM をパソコンにセットし、ドライバをインストールする

- ドライバをインストールするには（☞P.12）

こんなときは

こんなとき	ご確認ください
USB ケーブルを接続しても何も表示されない	• ビデオカメラに AC アダプターが接続され、電源が入っていることを確認してください。 • USB ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。 • 電源つきの USB ハブを使うか、パソコン本体の USB 端子に接続してください。 • Windows が USB 端子を認識していない場合があります。コントロールパネルの「システム」のプロパティで、ユニバーサルシリアルバスコントローラを使用可能に設定してください。 • Windows 98SE の場合は、USB マスストレージクラスドライバを更新してください (☞P.74)。
ファイルをコピーまたは保存できない	• コピー先または保存先のドライブに十分な空き容量があることを確認してください。 • コピー先または保存先のドライブが書き込み禁止に設定されていないことを確認してください。 • コピー先または保存先に同じ名前のファイルがないか確認してください。 • 電源つきの USB ハブを使うか、パソコン本体の USB 端子に接続してください。
「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示された (Windows XP)	ケーブルを取りはずし、ドライバをインストールしたときに接続した端子に接続しなおしてください。
フォト・ナビゲーターに静止画を読み込めない	• 静止画データの形式によっては読み込めない場合があります。ほかの画像作成・加工ソフトでビットマップ形式または JPEG 形式に変換してください。 • フォト・ナビゲーターをインストールしたドライブに十分な空き容量があることを確認してください。
フォト・ナビゲーターで「メール添付」機能が動作しない	• Outlook Express をお使いの場合は、Internet Explorer 5.5 以降へバージョンアップ (標準インストール) してください。 • メールソフトによっては、「MAPI クライアントに設定」または「MAPI アプリケーションから使う」などの設定が必要になる場合があります。
静止画がモザイク状になる	• 小さな画像を読み込んで拡大して表示すると、モザイク状になります。 • 画質 (JPEG 品質) を低く設定して保存または形式変更すると、モザイク状になります。
パソコンの色がおかしい	「ディスプレイ」のプロパティで 256 色以下に設定していると正常に表示されません。
映像の動作が不自然になる	お使いのパソコンのハードウェア構成と性能、再生テープの状態によって、なめらかに表示できないことがあります。

こんなとき	ご確認ください
パソコンが節電状態から復帰しない	• ケーブル（USB ケーブル、DV ケーブル）を取りはずし、パソコンを再起動してください。 • 上記のケーブルを接続しているときは、節電機能（サスペンド、レジューム、スリープなど）をオフにしてください。
ファイルの情報表示などに、正しい作成日が表示されない	撮影したときに作成日が入っていないファイルは、作成日が正しく表示されません
ImageMixer のインストール中にエラーが発生した	「Command line option syntax error. Type Command /? Help.」と表示された場合は、OK ボタンを押すとインストールを完了できます。
ImageMixer で操作中に、音や画像がでない	Windows と ImageMixer の各種設定を変更してください。 それでも改善されない場合は、お使いのパソコンに搭載している各種ハードウェアのドライバを Windows XP に対応した最新版にアップデートしてください。最新版のドライバは、各ハードウェアメーカーのホームページからダウンロードしてください。
ImageMixer で操作中に、「高速ではない USB ハブに接続している高速デバイス」というメッセージが表示された	USB ケーブルを取りはずし、接続しなおしてください。
市販のアプリケーションソフトで、DV キャプチャやビデオカメラへの書き戻しができない	USB ケーブルをビデオカメラに取りつけていたら、取りはずしてください。DV ケーブルと USB ケーブルは、ビデオカメラへ同時に接続できません。

索引

❒ アルファベット / 数字

❒ あ

❒ い

❒ せ

❒ た

❒ ち

❒ て

❒ と

❒ ひ

❒ ふ

❒ へ

❒ ま

❒ め

お問いあわせの際は

ご連絡していただきたい内容

電話または E メールでお問いあわせの際は、下記の内容をお伝えください。なお、E メールの場合は、ビクターホームページの「お問い合わせ・サポート」をクリックしてください。

http://www.victor.co.jp/

<table>
<tr><td colspan="2">ご利用のビデオカメラ (型名)</td><td>GR-　　　　　　　　　　(GR-DZ7 など)</td></tr>
<tr><td colspan="2">故障の状況</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">エラーメッセージの内容</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6">パソコン</td><td>メーカー名</td><td></td></tr>
<tr><td>機種名</td><td>□デスクトップ　□ノート</td></tr>
<tr><td>CPU</td><td></td></tr>
<tr><td>OS</td><td></td></tr>
<tr><td>メモリ容量 (RAM)</td><td></td></tr>
<tr><td>ハードディスク空き容量</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">お買上げ日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="2">お名前</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ご住所</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">電話番号</td><td>(　　)　－</td></tr>
<tr><td colspan="2">FAX 番号</td><td>(　　)　－</td></tr>
</table>

ご質問の内容によっては回答までにお時間がかかることがありますので、あらかじめご了承ください。なお弊社（日本ビクター）では、お使いのコンピュータについての基本的な操作方法、OS、ほかのアプリケーション、ドライバの仕様やその動作に関する事項などについては、一切お答えできません。

ImageMixer に関するお問いあわせ先

ImageMixer のご使用方法・ご質問・ご相談につきましては、下記のユーザーサポートセンターまでお電話か FAX にてお問いあわせください。メールでのサポートは行っておりません。

■株式会社　ピクセラ　ユーザーサポートセンター

住所　〒556-0011
大阪府大阪市浪速区難波中 2-10-70　パークスタワー 25F
電話番号　06-6633-3900
電話受付　10：00 〜 13：00、14：00 〜 17：00
(年末年始、祝祭日、所定定休日を除く)
Fax 番号　06-6633-2992
Fax 受付　24 時間
ホームページ　http://www.imagemixer.com/

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング**	本製品についての技術的なお問い合わせは **DVご相談窓口**
ビデオカメラの取扱説明書の「ビクターサービス窓口」をご覧ください。	**電話：(045)450-2770**

お買い物情報や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120-2828-17**

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話：(03) 5684-9311
FAX：(03) 5684-9317
〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

M4D6 0604HOH-HT-VP